

仕事と生活両立 企業が事例発表

葵区でシンポ



事例報告などを基に労働環境を考えたシンポジウム
＝静岡市葵区

労働環境を考える「ワーク・ライフ・バランス シンポジウム」(厚生労働省静岡労働局、静岡市主催)が20日、同市葵区で開かれた。講演やパネル討論を行い、経営者や企業の人事担当者ら約200人が聴講した。

お仏壇のやまき(静岡市)、静岡鉄道(同)、富士フイルム富士宮工場(富士宮市)の各関係者が、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組み事例を紹介した。それぞれ積極的に休暇制度を導入し、休みやすい職場環境づくりに努めているとした上で、「効率が良くなり、売り上げに結び付いた」「従業員がより意欲的に働くようになった」などの効果があつたと強調した。

やいちゃんに新たな仲間



焼津市のマスコットキャラクター「やいちゃん」の新たな仲間が誕生した。その名も「オオグソクムシ」。深海生物のオオグソクムシをモチーフにした体長約30センチの「ギモカワ」おじさんで、今後、やいちゃんとともに各イベントに参加し、焼津の魅力をPRする。

「オオグソクムシのおじさん」登場

オオグソクムシは、ダンゴムシとも言われる市内の小川港で多く見られる。グロテスクな見た目にもかかわらず、サンガラスを掛けた目、多くの足をばたき、泳ぐ不気味さが人気を集めている。「オオグソクムシのおじさん」は焼津愛にあふれたキャラクターで、新たに誕生したキャラクター「オオグソクムシのおじさん」を手にするやいちゃん焼津市役所

来月2日から一般質問 藤枝市議会

藤枝市議会

藤枝市議会11月定例会は12月2日から再開し一般質問が始まる。24日に計15人が登壇する。質問内容は次の通り。

- 【2日】天野正孝①環境日本一に向けた市の対応の指定管理者制度の今後のあり方②石井通春①リニア中央新幹線の中止を求めるべき②浜岡原発再稼働に對し市の取り組みを明らかにすべき③小林和彦①減災対策に向けての課題②大石保幸①大活字本に関する取り組み②代読・代筆支援サ

- ビス③犯罪被害者等への支援④多田晃①創業支援に関する市の取り組みと今後②水害時避難勧告等の判断・伝達マニュアルと土砂災害洪水ハザードマップと避難③斎藤幸裕①来年度市戦略方針と市長のまちづくりに向けた考え④大石信生①「地方創生」で市は元気になるか

- 【3日】松崎周一①市公共施設等総合管理計画策定②岡村好男①北村市政2期8年の総括と今後の市政経営②山本信行①子育てアプリ②公共施設の市民サー

- ビス向上③山根一①「サッカーのまち藤枝」②文教都市ふじえだ(加藤まさを)③鈴木岳幸①市における自殺対策②生涯現役社会の実現③油井和行①選ばれるまちふじえだ来訪人口・定住人口の拡大

を12月17日までと決めた。

続いて、第

合計画基本構や北海道恵庭好都市提携協など計19議案を12月17日までと決めた。

市民会館の定管理者には藤枝オリコミルグループの員会の結果選決された。

市民会館の者をめぐってシアタサービスが松市中区がの悪化を理由を出した。

約80人のアーティストが60店近くのを開いているイベント「アートあん＝焼津



作家80人、65

軽にアートを楽しんでもらう。商店側もイベントに合わせて商品の割引サービスを行うなど相乗効果を狙う。栄町の「ヴィラマリソール」には招待作家5人の感性あふれる作品がずらりと並ぶ。駅前通り商店街の「魚銀」では、富士市の造形作

